

# 議会だより けんぶち 150号



2025年6月発行  
剣淵町議会

<https://www.town.kembuchi.hokkaido.jp>



|               |       |
|---------------|-------|
| ことしのしごとピックアップ | 2～3   |
| 町民の暮らしにつながる予算 | 4～5   |
| 予算特別委員会       | 6～9   |
| 第1回定例会・第2回臨時会 | 10    |
| 一般質問に3氏が登壇    | 11～13 |
| トピックス・編集後記    | 14    |

道の駅レストラン  
スタッフの皆さん



## 教育課

### ①さぬき市交流事業

友好都市の子どもたちと交流することで文化の違いを感じ経験が深まることを期待します。

185万円

### ②剣淵高校校舎塗装工事

年数も経過し塗装の劣化が著しく、本年度に校舎外部塗装工事を実施します。

3,463万円

### ③地域みらい留学（道外募集）事業

募集範囲を道外にも広げ、東京・大阪で開催される対面合同説明会に参加するなどプロモーション活動を積極的に展開し、新入生の確保を目指します。

343万円



## 建設課

### ①西岡浄水場遠隔監視装置工事

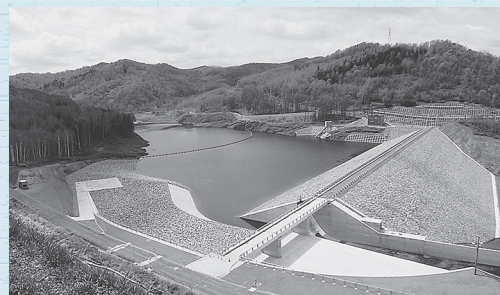
西岡浄水場の遠隔監視装置を設置します。異常時の迅速な対応が可能となります。

674万円

### ②単身勤労者住宅内部改修工事

老朽化対策として修繕・改修事業を強化し、単身勤労者住宅の内部改修を実施します。

1,656万円



## 健康福祉課

### ①保育所屋根板金工事

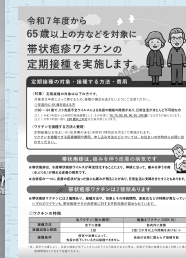
保育所が建設されてから30年以上経過し、劣化が著しく進んでいることから、屋根板金葺替工事を実施します。

1,411万円

### ②感染症対策事業

本年度から新たに65歳以上を対象に带状疱疹ワクチン接種費用の助成等を行います。

210万円



## 総務課

### ①地域おこし協力隊事業

地域の課題の中で必要とする分野での新規隊員を6名募集します。

1,738万円

### ②ふるさと納税事務

広告の充実を図るためふるさと納税の登録サイトを増やし寄付金額の増加に努めます。

996万円



# ことしのしごとピックアップ

## 農林課

### ①農地排水機能向上対策

農産物の安定生産と農業生産性の向上のため、暗渠工時の施工費用の補助を継続します。

234万円

### ②スマート農業促進事業

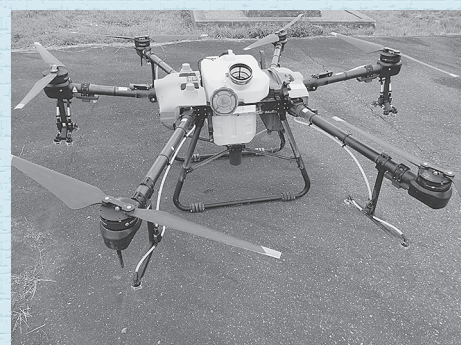
労働力不足解消や規模拡大に伴う生産性の向上には欠かせないものであり、導入費用の助成が継続されます。

450万円

### ③農業次世代人材投資事業

経営開始後の新規就農者に対して資金を交付する事業です。1年につき1人あたり最大150万円とし、期間は最長2年間です。

450万円



## 住民課

### ①廃棄物処理施設管理運営事業

ランニングコストが上がっている中、最終処分場の受入日を変更することで、予算の大幅上昇を食い止め、前年度比65万円減の予算になりました。

2,592万円

## 町づくり観光課

### ①桜岡公園維持管理事業

劣化していたB & G艇庫横トイレ出入口周辺やキャンプ場遊歩道の階段の修繕を行います。

131万円

### ②道の駅維持管理事業

消耗の著しい機器・設備の更新を行います。また、休止していたレストラン跡地にはテナントが入り4月28日から営業が始まっています。

112万円







## 予算特別委員会

予算特別委員会の質疑の中から一部を抜粋して掲載します。

### 町たばこ税

早乙女委員

2022年のたばこ税が隣町より約1000万円ほど少ない。国道沿いにコンビニがある影響かと思うが、道の駅でたばこを販売できないか。

中村副町長

販売には許可が必要で、その条件が難しく、全て買取りとなるため在庫リスクもある。しかし、税を町に入れるという観点から、道の駅、町づくり観光課と共に検討していきたい。

### 町営住宅

竹内委員

町営住宅使用料の減少幅が大きい。住宅の2割が空いている状況は町の財産として重荷になる。抜本的対策が必要ではないか。

中村副町長

入居条件緩和など改善を進めている。3月の入居申請は増加しており、今後も対策を検討する。

### 顧問弁護士ストレスチェック

酒井委員

顧問弁護士相談業務の金額が前年度より3割上がっているが理由

は。また、ストレスチェック調査で問題のあった職員数は、

渡邊総務課長補佐

職員関連の相談が増加し、弁護士と協議した結果、改定を行った。高ストレス者で産業医面談を希望した職員は3名で、産業医と面談を行った。

### 町公式LINE

岡委員

本町の登録者数は530人だが、下川町は1800人でありスマホ役場として効果的な運用がされている。今後の登録者を増やす取り組みについてどうか。

長谷川総務課長補佐

機能が充実していないと、登録が増えないと認識している。7年度は、じんじん号予約の実証実験を行うことや、若い人向けの検診の予約、マイナンバーカードを活用した手続きの準備など、登録者増に取り組みたい。



町公式LINEからじんじん号利用予約の実証実験を開始

やみを公式LINEで配信できないか。

長谷川総務課長補佐

お悔やみ情報については、内部で協議を進めている。当麻町では防災行政無線の内容を公式LINEで配信しており、調査研究して必要があれば環境整備を検討したい。

### 移住支援金制度

大澤委員

道のマッチングサイト登録企業でないと道の移住支援金を受けられないため町の役割は限られるが、登録促進やSNSでの情報発信など工夫できないか。

鴻野総務課係長

7年度に制度が変更され、起業だけでなく就農等にも支援金が出るようになる。企業の事務支援を行い、制度を活用できる企業を増やすよう努力していきたい。

### 町有地の活用と道路整備

村上委員

南1条通りの道路を通す費用対効果について伺いたい。また、住民の聞き取りは十分になされているか。

中村副町長

使われていない土地の有効活用が効果と考えている。地権者の了解を得ることが最優先であるが、柔軟に対応していきたい。

岡委員

南1条通りは街なかや小学校・保育所にも近い立地であり、道路がつくことで宅地活用が見込めることから、道道までつながらないとしても、新規で土地活用を進めてほしいが。

早坂町長

同感である。民地活用のマッチングを行うもので、道路整備で家が建てられるようになれば良い。内々では一部了承を得ているので、予算化して調査や道路用地買収を進めたい。

### ホームページ

大澤委員

ホームページの見せ方の工夫について要望が出ていたが、抜本的な改良の余地が残っている。今後の考え方は。

長谷川総務課長補佐

検索の深さや新鮮味不足の指摘を受けている。7年度に先進地事例を調査し、8年度当初予算でホームページの全面入れ替えを検討中である。

### じんじん号

高橋委員

利用者から利用場所の変更などの声が上がった場合、どう活かせるか。協議できる場所はあるか。

精進総務課長

委託先と協議を行っているが、乗合自動車は国の決められたル



ルの中で運用するものであり、「ここで降りたい」「乗りたい」という要望は一般のタクシー・ハイヤーの分類に当たると。できる範囲での対応は努力しているが、それ以上は難しい場合もある。

## 地域おこし協力隊

村上委員

ホームページで隊員の活躍やその後の様子などが見えるページがあると良いが。

鴻野総務課係長

現隊員やOBの活動はホームページに掲載していない。今後特集を組むなど、活動や成果が見やすく探しやすいようにしていきたい。

佐藤委員

他市町村では協力隊募集にあたり住居費無料など特色を持たせているが本町の特徴は。

鴻野総務課係長

国の基準を超えた特色付けはしていないが、上限を設けているところが多い中、本町では上限なく住居費無料としている。上限がある場合は、最大限の報酬を設定し応募増加を図っている。

長谷川総務課長補佐

協力隊募集は人材の取り合いで応募が来ない状況である。協力隊インターン制度を既存予算内で実施できないか検討中である。

竹内委員

施政方針で協力隊6名採用予定とあったが予算書には反映されていない。大手企業の初任給引上げなど状況変化の中、待遇改善を総務省に意見する考えは。

早坂町長

予算は3名分だが募集は6名行っている。現状では応募がなく期間延長を検討中である。4月からは29万円の給与水準となり、新卒者には魅力的と考える。移住は可能でも定住のハードルは高いが、まずは3年間の活動を目指している。



上家協力隊員が店舗を改修し起業に向け準備中のお食事処さわらび

## 観光客誘致

酒井委員

アジア諸国からの観光客誘致にチャレンジしてほしい。町内には高度なガイド資格を持つ方がいるため、活用できないか。

萩尾町づくり観光課長  
レークサイドには通訳付きツアーで海外宿泊客が来ており、現状

はフロントスタッフが対応しているが、今後増加すれば語学ができる人材が必要と考えている。

## レークサイド桜岡

大澤委員

施設内に有効活用されていないスペースが多い。2階の地域商社の部屋、元売店スペース、ホールなどでキッズスペースの設置や経済効果を生む取り組みは。

中村副町長

現在は人件費をかけない、投資をしない方針で運営している。売店や遊具設置には人の目が必要で人件費がかかるため、まずは現状の委託費の中で黒字化できる見通しが立つてきた段階で、提案されたアイデアにチャレンジしていきたい。

岡委員

毎年多額の費用が投入されており、厳しい経営状況が続くなら豊富な経験や知識を持ち、質の高いサービス提供や効果的なマーケティング戦略ができる企業の力を借りることも検討すべきと思うが。

早坂町長

累積赤字を出資金額内に抑えることが目標。外部企業の参入は検討の余地はあるが、外資系への売却は避けたい。当面は債務解消に向け無駄な投資を避ける。町民の

財産として大事な施設であることをご理解いただきたい。

## 観光協会

村上委員

観光協会が行っているイベントに関して残念な話を耳にする。観光協会ではイベント終了後に振り返りや今後の方向性について話し合う機会はあるのか。

萩尾町づくり観光課長

観光協会では年5〜6回のイベントを主催しているが、準備期間が短く全てを議論しきれずに進めてしまう場合もある。令和7年度に向けては日程スケジュールを当初から確立し、準備段階をきちんと持つよう検討を進めている。

## 放課後デイサービス

早乙女委員

土別の放課後デイサービスの利用者は9割の補助を受け、所得により1割を負担している。この1割負担を町が補助する考えは。

矢口健康福祉課長

土別市は全額助成しているが、剣淵町や和寒町など他の自治体では非課税世帯は自己負担なし、課税世帯は相応の負担がある状況である。近隣自治体の状況等を勘案し今後相談しながら検討していきたい。



# 予算特別委員会

## 納税相談

佐藤委員

納税相談初日に町民が長時間待たされた件について、対応と今後の改善策を伺いたい。

板東住民課長

12月末に税務グループ職員1名が退職し、課長含め3名体制で対応していたが、初日は1人が出張で2人体制となり、他部署からの応援も難しい状況だった。

鈴木住民課係長

混雑時には来庁者を翌日に案内する対応を実施した。待ち時間緩和のため、待ち時間の掲示や回覧での混雑日周知、呼出はがきでの来庁日調整などを検討している。

## ごみ処分場

高橋委員

月曜日はごみ処分場が開かないとのことだが、住民への周知方法は。防災無線の活用は。

西岡住民課長補佐

月曜日はごみ処分場を閉鎖するが、月曜日は持ち込み数が圧倒的に少なく、委託料削減と作業効率化のため閉鎖することとした。住民周知については、上期・下期のごみ収集カレンダーを配布中で、今月の回覧で戸別配布する。

板東住民課長

町公式LINE、ホームページ等でも周知をしていく。無線放送

については検討する。

## 带状疱疹ワクチン

佐藤委員

带状疱疹ワクチンの1回接種と2回接種の効果の違い、どのような基準で選択すればよいのか。

村椿健康福祉課参事

ワクチンには生ワクチンと不活化ワクチンがあり、生ワクチンは免疫が低下している方には接種できないが接種後1年で6割程度、5年後で4割程度の予防効果がある。不活化ワクチンは免疫状態に関わらず接種可能で接種後1年で9割以上、10年後でも7割程度の予防効果がある。

## 農業委員の費用弁償

佐藤委員

農業委員の費用弁償について、1日に複数回のあつせん委員会があっても費用弁償は800円のみと聞いている。午前と午後で2回分の支給はできないのか。

精進総務課長

費用弁償については全体的な問題であり、基本的に1日1回の支給で、午前・午後で分けることはできない仕組みとなっている。

## 新規就農者支援

高橋委員

新規就業奨励金と農業次世代人材投資事業費補助金について内容

を詳しく説明してほしい。

原農林課長補佐

新規就業奨励金は親元就農を主とした経験のない方、4名が受給中で、新たに2名を対象としている。農業次世代人材投資事業は、町内で新たに農業を始めた方や親元就農を引き継いだ経験を持つ方、3名が対象となる。3年間月額12万5千円（婚姻者は増額）を補助する。両制度は対象者が重複しないよう設計されている。

## 市街地のヒグマ出没時の対応

佐藤委員

ヒグマが出没した場合の体制はどうなっているのか。

櫻井農林課長補佐

最終的には警察の指示による猟銃の発砲となるが、街なかには条件を満たす場所はないと考えている。対応方法としては、総務課の防災担当が緊急無線放送で建物から出ないよう避難指示を出し、町の広報車やパトカーで避難を呼びかける。その後は猟友会と協力して熊をその場から立ち去らせることを見守ることしか現状ではできない状況。

## 元町東団地の解体と移転

酒井委員

解体工事後の残存棟数と居住件数を伺いたい。また、移転補償費は具体的見込みがあるのか。

孫城建設課係長

現在10棟残っており、来年度2棟解体予定のため、解体後は8棟となる。居住者は12世帯である。移転については1名が前向きに検討中であり、残り3件は今後努力していく見込みである。

## 水道スマートメーターシステム

大澤委員

水るっくというアプリの登録はどの程度進んでいるか。公式LINEなど様々な手段を使い計画的に登録を促していくべきでは。

青木建設課主幹

現在は本稼働への準備期間である。現在90名の登録者がいるが、計画としては今月末に100件、来年度で470件を見込んでおり、公式LINEでの通知は3月末を予定している。



水るっく登録でスマートフォンやパソコンから料金等を簡単に確認

## いじめ対策

高橋委員

いじめや不登校に関して、連携がどの程度取れているのか。



佐藤教育課長

いじめについては、アンケート調査やオンラインでの悩み相談窓口を設置している。深刻な事案については学校教育指導員が状況を確認し、子供同士や保護者も交えて解決に向けて取り組んでいる。また、不登校対策としては30日以上不登校の児童・生徒がいる場合は学校で支援シートを作成し、教育相談や、ケース会議を開催して情報共有を行い、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、関係機関と連携して解決に向けて協議している。

### 児童学習生活支援員

岡委員

今まで3名で苦勞していたこともあり、増となると学校としては助かると思うが、どのような勤務形態で学校に入るのか。

佐藤教育課長

学校運営協議会の要望書に基づき1名増とした。高等学校の授業も担当するため、小学校へは2日程度勤務することとなる。

### 部活動の補助

竹内委員

前年より大幅に増額となっているが、クラブチームも含まれるのか。中学校の部活動で全道大会に出場が見込める種目があるのか。また、部活として活動すれば中体連以外でも補助が出るのか。

佐藤教育課長

部活動の全道大会については、大会要項の中に中体連、中文連という文言の記載があれば派遣費の対象としている。クラブチームについては、剣淵の子だけが残った場合に引率の監督がつかない事例があったため、クラブチームで剣淵が単独で残った場合も想定して予算計上している。

### 絵本の館

竹内委員

パート職員が1人減となるが、土日も含めた運営が必要で、この人数で本当に運営できるのか心配であるがどうか。



絵本の館

中村副町長

今2人を週に4日ずつ小中学校図書館に派遣している。そのうち

1人が司書として週2日ずつ小中学校に入り、もう1人が支援員として2日間小学校に入るの、体制として大きく変わらない。

早坂町長

8人が7人で館の活動がうまく回るか回らないかということにはならないと感じている。事業の進め方を精査し、創るつ会とも十分協議しながら進めていくことが良いと考える。

### 町政運営

酒井委員

緊縮財政の中で評価できる部分もあるが、町長最終年度として若年層・子育て世代向けの目に見える事業が欲しかった。今後は外向けのコスパとインパクトのある事業を検討してほしい。

早坂町長

若年層支援は国の子供支援策の動向を見極めた上で、支援策や独自の取組みを検討していく。

### 職場環境

竹内委員

事務改善が進む一方、職員の職場環境改善が不足している。役場の古い施設では夏場の空調など厳しく、ハード面の整備も必要。補正予算も含め働きやすい環境づくりに努めてほしい。

早坂町長

他の予算を先送りした経緯もあり、今年は我慢してもらつことと

した。学校など他施設にも行き届いていない部分があり当初予算には盛り込まなかったが、状況次第で補正対応も検討したい。

### 教育環境の魅力発信

大澤委員

絵本の里らしい子育て環境や絵本作家を招いた授業など特色ある取り組みを移住定住促進のPRとして積極的に発信すべきではないか。

早坂町長

最近では学校側から絵本作家関連の授業実施の提案もあり、地域の教育環境を受け入れる姿勢が学校にも生まれてきている。このような教育環境は移住者にとって魅力的な材料になるため、広く周知していきたい。

### 職員の柔軟な働き方

岡委員

人口が減少していくなかで各課の要望通りの職員配置は難しく、会計年度任用職員も含めたなかでの柔軟な働き方が、効率化と質の向上に必要と考えるが。

中村副町長

人口は減少しているが業務量は増加している現状。効率的な配置をして進めていかなければならない。会計年度任用職員も、業務量の変動に応じて他部署への配置転換など柔軟な活用も可能で、適正な人員配置を検討していく。



## 第1回定例会 3/3～18

### 第1号～第24号 第1号～第2号 令和7年度予算が決定

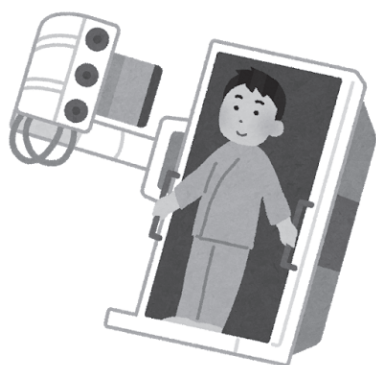
今年度の第1回定例会では始めに町長から施政方針、教育長から教育行政執行方針の表明があり、一般質問に3人が登壇しました。議案は条例一部改正が8件、各会計の予算人事案件などの議案を審議しました。最終日には条例の一部改正4件、新年度予算、各会計の補正予算について審議し、議案は原案の通りすべて可決しました。

1. 未来へつなぐ農業、商工建設業の発展
2. DXの推進と環境インフラ整備、そして安心の福祉
3. 少子化時代の教育と応援人口の拡大

#### 主な条例の一部改正

- 職員の給与に関する条例の一部改正  
給料表の引き上げが行われました。
- 剣淵町健康診査手数料条例の一部改正  
健康診査手数料が改定されました。

胃がん検診 1000円→1200円  
肺がんCT検診 3500円→3800円  
婦人科超音波検査 500円→700円



#### 人事案件

固定資産評価審査委員の  
選任に同意



山本 孝三氏（再任）

住所 仲町33番5号  
任期 令和7年5月16日～  
令和10年5月15日

## 予算特別委員会 3/11～14

3月11日から14日の日程で一般会計の他4特別会計、2公営企業会計と条例の一部改正3件について、9名の委員で慎重に審議を重ね、すべて可決しました。新年度予算の詳細や質疑については、2ページから記載しています。

#### 補正予算

3基金に1億6200万円を  
積み立て

- 低所得世帯等支援給付金事業で1685万円、生活交通維持費助成金344万4千円、水道基金本料金減免932万6千円、購買促進プレミアム商品券1035万円が補正されました
- 積立金は決算見込みにより、財政調整基金と減債基金にそれぞれ7600万円、公共施設整備基金に1000万円等、3基金合計1億6300万円積み立てしました。

## 第2回臨時会 4/14

- 一般会計に1328万7千円を追加しました。
- 主な内容は、マイナカードから情報を読み取る住民課の窓口業務支援システムの導入、新規に飲食店を起業する方から申請のあった起業化支援事業補助金、剣淵高校のプロジェクト動画制作業務、外国籍の生徒が入学してきたことによる通訳機の購入をするものです。

#### 質疑

岡議員

高校の通訳機の関係で、今回日本語の日常会話が難しい生徒が数名入学してきたという話であるが、この通訳機だけで授業を行うのは先生が大変苦労されると思う。通訳機以外のサポートをどう考えているのか。

佐藤教育課長

パキスタン人2名、中国人1名が入学した。パキスタン人2名については、言語がウルドゥー語という言葉で英語もなかなか通用しない状況にある。入学前に出身の比布中学校、比布町教育委員会にサポートしていただける話がついており、高校でも体制を整備し、連携をとっていききたい。





たけうち よしあき  
竹内佳明 議員

# 施政方針の中で、厳しい町財政の健全化に向けての取組指針が示されていないが

**町長** 事務事業の改善等をはじめ、様々な検討を行っていく。

竹内佳明 議員

施政方針の重要事項で「商工建設業」に対しての具体的な方策は。

早坂 町長

商工建設業の発展に関してはこれまで同様に商工会と連携し、地域経済を活性化することが重要な役割と考えている。

「建設業」と入れたのは前年対比で事業費が六千万円の伸びで、町内建設業の事業が増えるため。

竹内 議員

DXへの取り組みで専門性の高まりによる人材不足に対してどのような方策をとられるのか。

早坂 町長

職員が知識を身につけるためのセミナー等に参加し、各課横断で組織のDX推進会議メンバーに専門家のアドバイスを知見を取り入れ、知識を深められるよう進めていくことが必要であり、地域おこし協力隊員も募集していく。

竹内 議員

剣淵町ことも計画の策定後による具体的な施策は。また、地域おこし協力隊6名の

新規募集内容は。

早坂 町長

これも計画で方向性が示されることで総合的に判断し、必要とされる施策を指針として検討する。

地域おこし協力隊6名の新規募集の内容はそれぞれ、猟友会の担い手不足解消と有害鳥獣に対応する人。DX化の実現に向け行政と住民のパイプ役となる人。新たな視点や柔軟な発想による事業展開ができるキャンプ場施設管理・運営をする人。新たな事業展開を考え、インバウンドに対応し外国語に堪能な人。高校地域みらい留学に関わるコーディネーター。町内精肉店の事業継承者を考えている。

竹内 議員

厳しい町財政の健全化に向けての取組指針が示されていないが。

早坂 町長

経常的経費予算が歳出全体の8割を超え、抑制には限界がある。適時事務事業の改善、補助金及び交付金等の見直し及び公共施設の使用料等の改定、活用終了後不要施設の処分・施設の統廃合等の検討が必要。近隣の市町村の類似施設の共同広域利用も研究していく。

教育行政執行方針について

竹内 議員

教育行政執行方針で、剣淵高校の存続を左右する生徒募集で「地域みらい留学事業」に取り組みされるが高校そのものの魅力化を図り、学生に好感を与える方策が必要と思うがどのようにされるのか。

金村 教育長

全国で唯一の一問口の総合学科高校として、地域農業の担い手を目指し、実践的な農業技術を学ぶ農業国際系列、高齢化社会に対応した介護技術や専門知識を習得し、介護福祉士を目指す生活福祉系列、教育の多様なニーズに応え、地域を支える人材育成を目指す未来へのしんろ系列の3系列を展開して、地域社会に貢献することを目指す学校の魅力を発信していく。

また、学生寮が完備されて、留学生に快適な生活を提供できる。高校の魅力を幅広く発信するために、SNSやWebサイトを活用し、学校の活動や特色を積極的に紹介し、イベントや授業の様子、在校生の声などを発信し、剣淵高校の魅力を多角的に伝えていく。



# 町における生成AIについての現時点の認識と導入の検討状況について伺いたい



おおさわ ひであき  
大澤秀明 議員

**町長** DX推進会議でどのように活用できるかを調査研究していく。

## 大澤秀明 議員

現在剣淵町でもDX推進が図られ、徐々にデジタル技術の導入が進んでいる。中でも生成AIの導入は自治体業務の効率化や住民サービスの向上に大きな可能性を秘めており、すでに一部の省庁や各都道府県庁をはじめ、市町村でも導入している自治体が増えてきている。

剣淵町でもできるだけ早期に導入すべきと考えるが、本町において現時点での認識と導入の検討状況について伺いたい。

## 早坂 町長

生成AIの活用メリットは、業務自動化による人出不足の解消や、検索や分析、資料作成など自治体業務の効率化を図り、その分職員に、より重要な業務にあたってもらい組織全体の強化につながるものと考えている。

一方でデメリットとして、地方公共団体が利用しているネットワーク回線はセキュリティを強化した閉ざされたネットワーク環境であり、その互換性の問題、AIの精度が100%保証されているものではないので、そのチェック作

業が必要なことと、かえって非効率になるなどの心配、個人情報漏洩の心配などがある。

今後各課職員で構成するDX推進会議等での分野で活用できるか、また本町の機関ベンダーとも協議の上、慎重に調査研究していきたい。

## 大澤 議員

検討を進めるにあたり、デメリットに関して慎重に調査研究していかねばいけないことは理解するが、時代の流れについていくためには、町としてまずは活用方法や使用ルールに関しての自治体独自のガイドラインの設定について検討し、次の段階に進めていくべきではないか。

## 早坂 町長

技術の利便性は私も理解しているので、DX推進会議の中で懸念点をクリアし、しっかりとガイドラインについても検討していきたい。そのうえで導入できるかの判断を行っていく。

## 大澤 議員

現在は無料で試せるものの他、公務に特化したデータを学習させ

ている公務員専用の生成AIソフト等も出ているので、他の自治体の事例を参考にし、ルール作りは早急に進めて、まずはスタートラインに立ってみるという考え方も必要と思うが。

## 早坂 町長

セキュリティ関係の課題は慎重に検討しなければならないが、使用に否定的なわけではない。まずルールを定め、無料のものなどを試しに使ってみることから始め、その後業務のツールとして導入するかどうかを検討していくなど段階的に進めていきたい。

## ※生成AIとは

大量のデータから学習して、新しいテキストや、画像、音声、動画などを生成する人工知能のこと。従来のAIが既存のデータの分類や予測を行うのに対し、生成AIは新たなものを創造できる点が特徴であり、人手不足の昨今、業務効率化、自動化のため、多くの企業で使用されている。

各自治体でも導入や検討が進んでいるが、各都道府県や都市部に対し、全国的に地方町村の導入状況は遅れている。



さとう ひろかず  
佐藤宏和 議員

# 厳しい財政の中、財源の確保策は

**町長** ふるさと納税の収入増を目指していきたい。

佐藤宏和 議員

町民が将来に向けて安心して暮らせるような政策や展望が見えてこない。厳しい財政の中、支出を抑えるのも重要だが、財源確保に向け収入を増やす施策も必要不可欠と思うがどのような方策を考えているのか。

早坂 町長

歳入確保の中でふるさと納税は重要な課題であり、寄付額は決して多くはないが、担当者や協力事業者と連携しサイトの充実や新規返礼品の開拓を行う。

また、ふるさと納税募集のQRコードを作成し、公共施設や職員の名刺に掲載しPRを通じて、歳入増を目指していきたい。

佐藤 議員

全国的な米不足と高値により、ふるさと納税返礼品の米が足りてないのが現実。充実を図るためにも、町内の米農家には自販している人も多いので、裾野を広げてお願いしては。

また、全国お米グランプリで金賞が剣淵には2名もいる。剣淵ブランド米として返礼品に取り入れ

てPRしていくべきと思うが。

早坂 町長

返礼品の米については、審査してOKが出たら積極的に増やしていきたい。

## 2026年から始まる剣淵町農業振興計画の策定について

佐藤 議員

令和7年度は新たな農業振興計画を作成する年になる。すでに農業者に向けてアンケート調査を実施し、集計が始まっていると思うが、ここ数年の農業資材の高騰、水田活用的大幅な見直しや畑地化など、農業情勢は変化とともに厳しさを増している。

計画の策定に当たり、多くの農業者の意見を聞く場を設け、課題を整理し、国の補助金等が縮小されても持続可能な農業になるような農業振興計画を策定していくべきと考えるがどうか。

早坂 町長

現行の農業経営の改善、安定、持続可能な農業の推進、災害に強い農業基盤、労働力の確保、円滑

な農地流動化の推進、他の分野との連携、剣淵産認知度向上という基本方針に基づき、ICTやスマート農業など、新たな技術の導入促進による省力化、効率化を盛り込みながら、基本技術の励行、土づくりや輪作体系の確立など、再度原点に立ち返って取り組むことが必要と考える。

農業者や関係機関の意見を聞きながら、実効性のある計画の策定を進めていく。

佐藤 議員

振興計画策定にあたり、農福連携や環境保全など町全体で考えていかなければいけない課題もあることから、農業者以外からも幅広く町民の意見を聞く機会を設けるべきと考えるがどうか。

早坂 町長

色々な形で意見の収集はできるかなとは思う。農業者であっても、農業者でなくても、意見は自由に言えることはできる。作成にあたり時間は限られているが、例えば、パブリックコメントの募集をかけるなど何らかの方法を用いて意見を聞く場を設けたい。



## 議会一般質問 YouTube公開

3月定例会より議会の一般質問をYouTubeで公開いたしました。左記のQRコードを読み込むか、YouTube内で剣淵町議会と検索することで視聴することができます。まだ始めたばかりで手探りの状態ではありますが、これから様々な形で議会の情報を発信していきたいと思っております。



## 絵本の里を創ろう会が 第64回児童文化功労賞を受賞

絵本の里を創ろう会は、日本児童文芸家協会主催の第64回児童文化功労賞を受賞しました。

日本児童文芸家協会は、創設者に江戸川乱歩や川端康成などが名を連ねる児童文化を推進する団体であり、児童文化功労賞は、昨年度は黒柳徹子氏が受賞するなど歴史と伝統がある賞です。

5月21日に東京で開催された表彰式に大澤会長代理が出席してき

ました。会場には剣淵となじみの深い作家や出版社の方々200人程の関係者が出席し、多くの人と文化的交流を深めました。



## 春まつり開催

5月18日「ふれあい広場」で春まつりが開催されました。当日は天候もよく町内外から350人程が訪れ、野外でのジンギスカンを楽しんだり、子供対象のお菓子釣り、マジックショー、ビンゴ大会などで来場者が春の訪れを楽しんでいました。商工会（青年部・女性部）や郵便局の出店もあり、大いに盛り上がりました。

## 人事



総務課長  
**山下 俊明**  
【前議会事務局長】  
【前監査委員事務局長】

お世話になりました。



議会事務局  
長 監査委員事務局  
長  
**矢口 敦**  
【前健康福祉課長】

4月1日付で異動になりました。よろしく願います。



## 編集後記

日に日に温かくなり、田畑のあちこちで農作業に励む皆さんの姿が見られ、改めてこの町の豊かさを感じます。

また新年度を迎え新たなスタートを切られた方々の健闘を期待します。今回の表紙は4月28日にオープンを迎えたオリジナルインドカレーの店「シャングディ・ヴァース・ヴァダック」のスタッフです。しばらく休業していた道の駅レストランをテナントとして、新たにスタートしました。飲食店が増えるのは、町にとって喜ばしいことです。議会広報誌は、令和7年度予算編成をメインに構成しました。今後皆様のご意見を大切に、わかりやすく、親しみやすい紙面づくりを目指してまいります。  
(早乙女)

